

平成15年度「防災とボランティアのつどい」の開催について

阪神・淡路大震災において、災害時に各種のボランティアの果たす役割の重要性が認識され、平成7年12月15日の閣議了解により「防災とボランティアの日」(1月17日)及び「防災とボランティア週間」(1月15日～21日)が制定されました。

内閣府では、毎年、防災とボランティアに関する普及・啓発の行事開催等を通じて、災害発生時におけるボランティア活動や自主的な防災活動の重要性に対する認識を一層深め、災害に対する備えの充実・強化を図ることとしております。

兵庫県においては、阪神・淡路大震災から丸9年が経った現在も、様々な生活の課題、心の傷等を持つ被災者に対して、多くのボランティアが支援活動を続けています。本年度は、「被災地から芽生えた新しい市民社会」をテーマに、「防災とボランティアのつどい」を兵庫県と共同開催します。

1. 日時： 平成16年1月18日(日) 10:00～17:30

2. 場所： 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター(兵庫県神戸市)

3. 主催： 内閣府、兵庫県、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

4. 内容

(1) ポスター・セッション (終日)

・ボランティア団体の作成したポスターをパネル展示。

(2) 開会、分科会 (10:00～12:00)

(3) 参加団体自由発表会 (12:00～13:55)

(4) 基調講演 (14:00～15:35)

・基調講演「被災地から芽生えた新しい市民社会」

早瀬 昇 氏(社会福祉法人 大阪ボランティア協会事務局長)

・講演「地域に生きる」

山崎 主知子 氏(主婦・コープこうべ生活共同組合総代会OB会員)

(5) 分科会報告、閉会 (15:40～17:00)

(担当)内閣府防災部門災害予防担当
池田, 亀山
tel: (03)3501-6996
fax: (03)3597-9091